

専門基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OALA000	地域未来創生概論	1	2.0	1	春ABC	集中		吉瀬 章子, 藤川 昌樹	地域の未来の創生に関しての基礎的な知識・手法について講義するとともに、最新の事例についての見学を行う。具体的には、筑波大学が位置する筑波研究学園都市ならびに周辺地域に関するワークショップ、地域未来創生に取り組む著名研究者による基調講演、地域未来創生事業に先進的に取り組む自治体・企業・組織を対象とする聞き取り調査などを通して知識を深め、地域未来創生のために必要となる課題を主体的に見つけ、自身の研究課題に反映させる。	01CN404と同一。
OALA001	社会工学ワークショップI	2	1.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる基礎的能力を身につける。具体的には、「まちづくり国際交流ワークショップA」(ドイツで開催)、「まちづくり国際交流ワークショップB」(日本で開催)、「ビッグデータ分析とマーケティング戦略立案」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の調査」等のワークショップのいずれかを選択し、その企画立案ならびに運営に携わることで、社会工学における学修に必要な能力を養う。	01CN110と同一。
OALA002	社会工学ワークショップII	2	1.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	学生が主体となるワークショップなどで積極的な活動を展開できる発展的能力を身につける。具体的には、「まちづくり国際交流ワークショップA」(ドイツで開催)、「まちづくり国際交流ワークショップB」(日本で開催)、「ビッグデータ分析とマーケティング戦略立案」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の調査」等のワークショップの中で、「社会工学ワークショップI」で選択しなかったワークショップを選択し、その企画立案ならびに運営に携わることで、社会工学における学修に必要な能力を養う。	01CN111と同一。
OALA003	社会工学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学に関連する機関でのインターンシップを行う。履修希望学生は、申請書に、受入組織、受入組織所在地、受入組織責任者、受入組織担当者、受入期間、就業日数と時間(35時間以上であることが必須)、インターンシップ中の連絡先、補助等を明記し、学生教育研究災害障害保険(インターンシップコース)に加入した上で申請書を提出する。履修が認められインターンシップに参加した後、インターンシップの内容の概要、具体的成果、インターンシップ指導担当者の所見等からなる報告書を提出し、担当教員が評価を行う。	01CN055と同一。
OALA004	地域未来創生アクティブラーニングI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に関与することで、事業を推進する能力を涵養する。具体的には、「IoTを活用したワークライフバランス推進事業」、「まちづくりワークショップファシリテーター研修」、「Society5.0による八郷未来プロジェクト」、「プロジェクトマッピングによる都市モビリティの視覚化」等のプロジェクトのいずれかを選択し、課題に取り組む。	01CN411と同一。
OALA005	地域未来創生アクティブラーニングII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に関与することで、事業を推進する能力を涵養する。具体的には、「IoTを活用したワークライフバランス推進事業」、「まちづくりワークショップファシリテーター研修」、「Society5.0による八郷未来プロジェクト」、「プロジェクトマッピングによる都市モビリティの視覚化」等のプロジェクトの中で、「地域未来創生アクティブラーニングI」で選択しなかったプロジェクトを選択し、課題に取り組む。	01CN412と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OALA006	地域未来創生アクティブラーニングIII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学学位プログラムが提供する科目群で学んだ基礎知識をもとに、本講座の目的である地域の未来創生につながる実践的なプロジェクトに積極的に関与することで、事業を推進する能力を涵養する。具体的には、「IoTを活用したワークライフバランス推進事業」、「まちづくりワークショップファシリテーター研修」、「Society5.0による八郷未来プロジェクト」、「プロジェクトマッピングによる都市モビリティの視覚化」等のプロジェクトの中で、「地域未来創生アクティブラーニングI」、「地域未来創生アクティブラーニングII」で選択しなかったプロジェクトを選択し、課題に取り組む。	01CN413と同一。

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OALA500	社会学ファシリテーター育成プログラムI	3	1.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトに積極的に関与し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。「社会学ファシリテーター育成プログラム」は「社会学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「都市計画マスタープラン策定の支援活動」、「マイクロ都市計画立案のための支援活動」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の保全・活用案の提案」等のプロジェクトのいずれかを選択し、その企画立案ならびに運営に携わること、プロジェクトの進行に寄与できる能力を養う。	01CN059と同一。
OALA501	社会学ファシリテーター育成プログラムII	3	1.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトに積極的に関与し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。「社会学ファシリテーター育成プログラム」は「社会学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「都市計画マスタープラン策定の支援活動」、「マイクロ都市計画立案のための支援活動」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の保全・活用案の提案」等のプロジェクトの中で、「社会学ファシリテーター育成プログラムII」で選択しなかったプロジェクトを選択し、その企画立案ならびに運営に携わること、修士課程の学生として社会学における学修に必要な能力を養う。	01CN060と同一。
OALA502	社会学修士基礎演習I	2	2.0	1	春ABC	応談		社会学学位プログラム担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するために必要となる基礎的な知識を習得する。	
OALA503	社会学修士基礎演習II	2	2.0	1	秋ABC	応談		社会学学位プログラム担当教員	指導教員(若しくは指導教員を含むリサーチ・ユニット)が主催するゼミに参加し、修士論文を執筆するための基礎的な知識を再確認しながら、研究内容に即したより発展的な知識を習得する。	
OALA504	社会学修士特別演習I	2	2.0	1	春ABC	応談		社会学学位プログラム担当教員	指導教員の指導の下、修士論文を執筆するに当たり必要となる関連する研究のレビューを行う。	
OALA505	社会学修士特別演習II	2	2.0	1	秋ABC	応談		社会学学位プログラム担当教員	指導教員及びBAG(アドバイザー・グループ)教員に対して、修士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	
OALA506	社会学修士特別研究I	2	2.0	2	春ABC	応談		社会学学位プログラム担当教員	修士論文に関する中間発表に向けた、研究指導を受ける、準備を行う。	
OALA507	社会学修士特別研究II	2	2.0	2	秋ABC	応談		社会学学位プログラム担当教員	修士論文に関する最終発表に向けた、研究指導を受ける、準備を行う。	